

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年2月22日 (2018.2.22)

【公開番号】特開2017-82250(P2017-82250A)
 【公開日】平成29年5月18日 (2017.5.18)
 【年通号数】公開・登録公報2017-018
 【出願番号】特願2017-28928(P2017-28928)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 9/28 (2006.01)

C 0 8 G 73/14 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 9/28 1 0 1

C 0 8 J 9/28 C F G

C 0 8 G 73/14

【手続補正書】
 【提出日】平成30年1月12日 (2018.1.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ポリアミドイミドの固形分濃度がポリアミドイミド溶液質量に対し 2.5 質量% 以下である、均一なポリアミドイミド溶液を、基材上に塗布後、200 以下の温度で乾燥することを特徴とする乾式多孔化プロセスによる多孔質ポリアミドイミドの製造方法。

【請求項 2】

前記ポリアミドイミド溶液の溶媒が、含窒素極性溶媒とエーテル系溶媒とからなる混合溶媒であり、含窒素極性溶媒およびエーテル系溶媒の種類および配合量を選ぶことにより、気孔率および気孔径を調整する請求項 1 記載の多孔質ポリアミドイミドの製造方法。

【請求項 3】

基材が不織布である請求項 1 または 2 記載の多孔質ポリアミドイミドの製造方法。

【請求項 4】

ポリアミドイミドの固形分濃度がポリアミドイミド溶液質量に対し 2.5 質量% 以下である、均一なポリアミドイミド溶液を、基材上に塗布後、200 以下の温度で乾燥することを特徴とする乾式多孔化プロセスによる多孔質ポリアミドイミドのリチウム二次電池用セパレータとしての使用。